

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について (オプトアウト)

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研究課題名	高アミラーゼ血症の経過に関する研究
当院の研究責任者 (所属)	所属：頭頸部外科・耳鼻咽喉科 職名：教授 氏名：松塚 崇
他の研究機関および 各施設の研究責任者	ありません
本研究の目的	<p>本院総合健診センターでは個人の生活習慣が大きな要因となっている生活習慣病や各種疾患の早期発見を行っており、膵疾患のスクリーニングを目的に血中アミラーゼ値が測定されています。</p> <p>アミラーゼは膵臓や唾液腺から分泌される糖類を分解する消化酵素であり、アイソザイム分析でアミラーゼを膵型(P型)と唾液腺型(S型)に分けられます。P型アミラーゼが高いと一般に膵、胆嚢疾患、S型が高いと唾液腺疾患が疑われます。当総合健診センターではオプションでP型アミラーゼ分画の割合を検査することができ、非膵由来の高アミラーゼ血症(高アミラー血症でP型アミラーゼは健常値)である場合に唾液腺疾患が疑われ耳鼻咽喉科へ精査を依頼されることが多いです。</p> <p>今回われわれは本院総合健診センターで健診を受け高アミラーゼ血症が疑われた対象者のその後の精査結果を集計しその疾患の傾向や経過について分析を行います。</p>
調査データ該当期間	2016年4月より2021年3月まで
研究の方法(使用する 資料等)	<p>集計およびその分析には以下の様に分類し集計を行います。</p> <p>母集団：本院総合健診センターで健診うけた対象者(数、性・年齢分布)</p> <p>低アミラーゼ血症者、健常者、高アミラーゼ血症者に分類し、このうちP分画検査者はP分画高値者と非P分画高値者に分けて集計します。</p> <p>健診後本院以外で精査を行った対象者と本院で精査を行った対象者にわけ、行われた検査内容、その所見の有無、精査結果、そしてその後の方針を集計し傾</p>

	向を考察します。
試料/情報の他の機関への提供	ありません
個人情報の取扱い	診療データは匿名化し、匿名化したデータを切り離した上で調査票に記入し解析を行います。登録時の個人情報は記入後観察期間終了後に匿名化したデータと切り離し、個人情報に関する紙データは調査票記入後、研究者の責任のもと、シュレッダー処理後に廃棄します。記入済み調査票は研究期間中は本院の施錠された保管場所で第三者の責任により管理し、研究終了後には一定期間保管の後シュレッダー処理し廃棄します。
本研究の資金源(利益相反)	本学講座研究費
お問い合わせ先	松塚 崇 岐阜県岐阜市橋本町2-23 朝日大学病院 頭頸部外科・耳鼻咽喉科
備 考	